



「防災教育」を実施して ～前橋市立前橋第六中学校 第3学年～

3等陸曹 白石 知佳

自衛隊群馬地方協力本部前橋募集案内所（所長 2等陸尉 土屋 章）は、令和7年2月26日、前橋市立前橋第六中学校において、第3学年に対し「防災教育」を実施した。

はじめに映像などを用いた座学にて、災害の脅威や備えることの重要性について理解を深めた。その後「応急補助担架」の作成要領や「ロープワーク」を実施し、災害に備えられるように実技を行った。

生徒たちは、1時間に及ぶ座学に真剣に耳を傾け、東日本大震災時に撮影された避難映像に深く見入っていた。

また、実技「応急補助担架」について、当初は、2本の金属パイプと毛布のみで作る応急補助担架の強度に不安な顔も見受けられたが、実際に教員が持ち上げられると歓声が上がリ、安心した様子だった。ロープワークについても互いに引っ張り合い本当に解けないことを確認し合うなど、興味深く学ぶ様子が印象的だった。

生徒からは、「座学で災害について知ることができてよかった。ちゃんと備えようと思った。」という意見や

「旅行に行く際も、その土地の災害について知識を持ち、もしも旅先で災害にあったらどうするかを考えなくてはいけないと思った。」との言葉を頂いた。

また、実技においては、「思ったよりも応急担架が丈夫で驚いた。ロープの結び方もきちんと覚えて、いざという時に使えるようになりたい。」と関心の高さが窺えた。

前橋募集案内所は、今後も防災教育などを積極的に実施し、地域住民の方々の防災意識の向上、災害時における早期避難の促進など、不測の事態に一人でも多くの命を守るよう尽力していく。



真剣に耳を傾ける生徒たち



「防災教応急補助担架の作り方の説明



応急補助担架の作成



応急補助担架の体験



ロープワーク